



岐阜市立岩野田北小学校 学校だより

せんだんの木



令和7年9月16日 校長 各務 至

自助、公助の意識を高めて

9月1日(月)、命を守る訓練(地震・火災)を行いました。昨年から運動場に急いで避難することをやめています。東日本大震災級の地震であっても校舎の倒壊や延焼は考えにくく、まずは、校舎内にとどまる避難の仕方を訓練しています。むしろ、余震の中を飛び出していくリスクの方が高いので、落ち着いて状況を把握し初期対応をしていくことが重要です。

子供は、大人が指示したとおりに動けることも大切ですが、大人がいない状況で、自分で判断して行動する力を付けることが大切になります。大人が近くにいない休み時間や登下校中のことも考えなければなりません。そこで、ある学級では、危険を予知する力を高めようと、「窓ガラスや蛍光灯が割れるとけがをする。」などと、廊下や階段での危険を見つけたり、非常扉のつくりや目的を理解したりしました。また、「下校中で家がまだ遠かったら、110番の家に駆け込んだり、学校に戻ったりする。」などと、具体的にイメージしたりしていきました。ある児童が「家で地震があったときは、妹の手を引いて部屋から出る。」と話すのを聞いて、とても胸が熱くなりました。

タイトル右横のひまわりは、「はるかのひまわり」といって、まちづくり協議会様からいただいた種をプランターで育てたものです。

これは、1995年夏、阪神淡路大震災で天国に旅立った、小学校6年生の児童の自宅跡に咲いたひまわりから採取した種の子孫になります。先人の方々の教えを大切に、教訓を守り、誰一人失うことのないように努めていきます。

懇談ありがとうございました

15分という短い時間ではありましたが、ご来校いただき、ありがとうございました。前期もとひと月というところまでできましたが、引き続き、ご家庭とともにお子さんの成長に寄り添っていきたいと思います。

過ごしやすい環境に

この夏休みに、各教室の換気扇を新たに付けたり修理したりしましたので、教室内の換気が今まで以上に良くなっています。また、トイレの和式の一部を改修し、洋式を増やしました。安心して使ってもらえるとよいです。



全国学力学習状況調査（6年生）から見たこと

毎年、6年生を対象に4月の下旬に実施していますが、学力に関わる結果を分析すると、おもに次のような課題が見えています。

○国語について

文章を読み取ったりすること、書いたりすること、それらを説明したりすることに課題がある。

○算数について

基礎的な知識に課題があり、正しい答えを導き出せない場合が見られる。

○理科について

関心をもって実験や観察に取り組む姿があるが、学習内容の定着に弱さがある。

○学習全般について

考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表することが苦手である。

そこで、私たち教職員で、全国学力学習状況調査の問題を解き直したりしながら、子どもがどこにつまずいているのかを話し合い、次のように、授業の方法を考えたりするなどしているところです。

- タブレットへの書き込みと、ノートに記述することを場面に応じて使い分けていく。
- 本を読む時間を確保するなど、読書の魅力に気付かせ、読書量を増やしていく。
- 日常の事象と結び付けた学習をすすめていく。
- 式や答えを言葉で説明する学習活動を増やしていく。
- 単元や題材のまとめの学習にて、既習事項を反復したり応用したりするなどして、充実を図る。
- 相手の立場から物事を考えたり、多面的に事象を追究したりする学習を設定する。

もちろん、子ども一人一人の学力・学習の状況は異なりますので、引き続き、それぞれに合った支援を進めていきます。

